



豊かな自然の恵みと災害の脅威、人と自然が寄りそって災害に対応するためには・・・



リンドウ



センブリ



アサギマダラ



センニンソウ



タマミズキ



マムシグサ



ムラサキシキブ



コウヤボウキ



コバナガズミ

**豊かな自然の恵みと災害の脅威**

日本は、傾斜が大きい急流な河川が多く、世界有数の地震国であり、有数の火山国でもあります。はっきりとした四季の変化があり、雨が多く、時には大きな台風にも襲われます。

古（いにしえ）より、台風や地震、河川の氾濫、土砂崩れなどが何度も発生し、人命や財産を奪われる災害となって、大きな被害をもたらしてきました。

同時に、このような国土の特性は、優れた自然景観や固有の生態系を持つ、世界でも類をみない生物多様性に恵まれた国土となり、世界中から多く人が訪れるようになりました。

箕面でも、箕面大滝と急峻な渓谷美、明治の森箕面国定公園に代表される四季折々に美しい豊かな自然は、多くの行楽客や市民に親しまれ、近年は外国人も多く訪れるようになってきました。

**台風の影響による土砂崩れや倒木による被害**

昨年 10 月に発生した台風 21 号は、大雨を伴った暴風となり、箕面の滝道では、土砂崩れや倒木、道のひび割れなどにより、観光シーズンにもかかわらず箕面大滝までの滝道が通行禁止となり、1 年かけて復旧するという大きな被害を受けました。

今年 9 月 4 日の台風 21 号は、記録的な暴風を伴い、近畿を直撃し、高潮による空港の閉鎖や暴風などによる大きな被害をもたらしました。箕面の山でも、スギ・ヒノキの植林地を中心に自然林も含めて、各所で倒木が発生し、国定公園の自然研究路の全てが通行止めになるなど、大きな被害を受けました。

# 台風による被害と市民団体による倒木撤去や山道補修の活動

## 台風21号の暴風の影響による倒木被害



倒木による道路の崩れ(ウツギ谷)



道路のえぐれ。水路に土砂や倒木がたまり、流水が道路を浸食(ウツギ谷)



ウツギ谷は、昨年10月と同様に、溪流沿いのスギ・ヒノキの倒木が多く、歩く事が出来ない状態になりました。道路のえぐれを放置しておく、更に道が崩れる恐れがあります。箕面市が水路の倒木や土砂を撤去するなど、林道の復旧のための早急な対応が必要になっています。



瀧安寺本坊屋根の倒木被害



水量が増し、豪快な箕面大滝



大滝上、大日駐車場近くの倒木

瀧安寺は倒木による屋根などの損傷被害が大きく、府営箕面公園は大きな被害を受けました。国定公園でも、大日駐車場前の他、府道沿いのスギ・ヒノキの植林地の被害が大きく、今後、川沿いの植林地を針広混交林に転換するなど、中長期の取り組みが必要ではないでしょうか。

## 市民団体ボランティアによる倒木撤去の活動(箕面の山パトロール隊)



ハイキング道の倒木



倒木撤去の活動



倒木撤去後のハイキング道

ハイキング道の多くは里道(りどう)です。里道の維持管理は、箕面市の担当課が行うべきですが、山道まで手が回らない場合がほとんどです。そこで、日ごろ、クリーンハイキングなどで歩いている箕面の山パトロール隊の隊員やサポーターが、安心安全を前提として、出来る範囲の懸命な復旧活動を継続して行っています。

## 市民団体ボランティアによる山道補修の活動(箕面マウンテンバイク友の会)



オヶ原池から谷山谷への分岐点近く、溪流沿いのハイキング道が大雨の影響により崩れました。こちらも箕面市が担当すべき里道ですが、手が回らないようです。日ごろ、自転車を利用しての箕面マウンテンバイク友の会の皆さんが、杭を打って、土嚢を積むなど、山道補修の応急処置をしました。

# 人と自然が寄りそって災害に対応するためには・・・

## たびたび苦しめられてきた水害の歴史

昭和9年(1934年)の室戸台風や昭和10年(1935年)・13年(1938年)の集中豪雨で大きな被害を受けた箕面。昭和26年(1951年)の水害では、箕面町警察署長だった合田百一さんは、滝近くでいる人を助けようとして、濁流に飲み込まれて亡くなりました。昭和42年(1967年)の集中豪雨では、1日255mmという大雨がふり、幼児や消防団員など4名が亡くなるなど大きな被害が発生しました。その後、昭和57年に、治水のための箕面川ダムが完成しました。



箕面警察長合田百一氏  
殉職の碑(箕面公園内)  
昭和26年



導心ヶ谷池の堤防に土のうを積んで、決壊を  
くいとめる自衛隊員※昭和42年「広報みのお  
」7月号から転載



導心ヶ池・大宮寺池・普請  
池・取池の堤防決壊と復  
旧の記念碑 昭和42年



昭和42年の集中豪雨の後、自然景観  
や環境に出来る限り配慮したロックフ  
ィル式の治水ダム 昭和57年

## 古くからある生態系による防災・減災

私たち日本人は、水害を減らすための堤防の整備、遊水池となる水田やため池の活用など、生態系がもつ機能をうまく活用し、豊かだが荒々しい自然を前に、自然と対立するのではなく、人と自然が寄りそうような知恵や自然感を持ってきました。

人口増加と経済成長により、各地で開発が進み、自然災害に脆弱な、小川が流れていたような谷筋の土地にまで住宅が拡大し、災害や危険を伝える言い伝えや石碑は忘れられ、自然への畏敬の念は失われてきました。

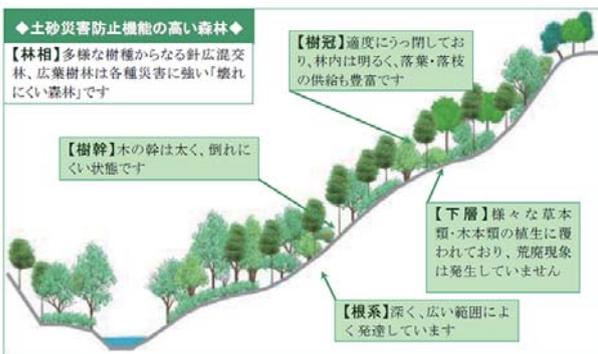
## 持続可能な生態系の機能を活用

こうした地域の安全確保のために、主に人口構造物によるインフラ整備が行われてきましたが、東日本大震災では、想定を超える津波が発生し、「自然災害に上限はない」ことがわかりました。また、台風や地震などが発生するなかで、「人の命が一番」であること、「逃げる」ことの大切さも知りました。

今後、気候変動が進み、極端な気象現象の発生も予測されています。人工構造物と生態系が持つさまざまな機能をうまく組み合わせ、お互いに補いあう、持続可能な生態系の機能を活用することが、防災・減災のための有効な対策の一つとして期待されています。

## 災害に強い森づくりと生態系を活用した防災・減災

### 災害に強い森づくりには、所有と管理の関係見直しが必要



出典：長野県 災害に強い森林づくり指針

手入れがされていないスギ・ヒノキの植林地は林内が暗く、下草も少なく、土砂流出の恐れがあります。また、過密状態の人工林は、木の幹が細く、根も発達しておらず、暴風により倒れやすい状態になっています。

ウツギ谷の溪流沿いの林道に放置された倒木は、もし、砂防堰堤を超えるような豪雨が発生すると、南側の住宅地への流木被害が懸念されます。

山林所有者だけの管理には限界があります。今後、所有と管理の関係見直しを前提とした、災害に強い森づくりに取り組む必要があります。

## 生態系を活用した防災・減災

倒木や土砂崩れを防ぐための森林の保全の他にも、生態系の保全を前提とした河川環境の保全と整備、農業の継承を前提とした洪水の緩和機能となる水田やため池の保全など、多面的な「防災」や「減災」のための箕面にあった総合的な対応を考える必要があるでしょう。

また、危険な土地は出来る限り利用しないようにするということが大切だと思います。



箕面のランドマークである山なみ景観と水田のある風景

# 11月3日(祝)山とみどりのファスティバル

みのおの山とまちのみどり みんなで守る!育てる!活かす!

主催:箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会  
日時:11月3日(祝) 10時30分~15時30分 ※雨天中止  
場所:瀧安寺前広場・瀧道ふれあい広場・箕面駅前ステージ、ほか  
☆自然素材を使った工作や体験コーナー  
☆山とみどりを守る活動の紹介  
☆滝道復興・再生活動の紹介、ほか



10月末には、箕面大滝に通じる滝道の通行禁止が解除される予定です。

# 11月11日(日)生物多様性フォーラム~箕面の身近な自然を大切にしよう

隣り合わせにある豊かな自然の恵みと自然災害の脅威、人と自然が寄りそった災害対応(生態系を活かした防災や減災対応)が大切です。私たちができることを、いっしょに考えましょう!

主催:箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会  
日時:11月11日(日) 13時30分~16時  
場所:箕面文化・交流センター地下1階 多目的室  
講演:(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター  
「生態系を活用した防災・減災とこれからの森づくり」、ほか  
参加費:無料



# 山麓委員会の「箕面ビジターセンターの企画・運營業務」の提案が選定されました。

箕面ビジターセンターは、明治の森箕面国定公園の利用拠点として、明治の森の地形、地質、動物、植物などの自然環境及び歴史、文化、さらに安全に利用するための利用情報などに関し公園利用者が容易に理解できるよう展示や自然解説及び利用案内を行う博物展示施設として、大阪府が設置した施設です。

大阪府の「箕面ビジターセンターの企画運營業務」に係る企画提案の公募があり、9月10日に、NPO法人みのお山麓保全委員会の企画提案が選定されました。

※業務期間・・・平成30年10月1日から平成33年9月30日までの3年間  
多くの団体や市民の皆さまと連携しながら、明治の森に訪れる箕面国定公園利用者に喜んでいただけるような活動を行いますので、皆さまのご指導とご支援ご協力をお願いします。



# 箕面の森の守りびと(山麓ファンドサポート会員)募金にご協力をお願いします

四季折々に美しい箕面の山のみどりを守り、育て、活かすために「箕面の森の守りびと」(みのお山麓保全ファンドサポート会員)を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

## 公益信託「みのお山麓保全ファンド」募金実績

期間:2018年1月~9月10日

▽ 「箕面の森の守りびと」会員	個人の募金	・・・	50,500
▽ 企業からの募金	阪急電鉄(株)・阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト	・・・	136,174
▽ 市民団体からの募金	森の音楽会・だんだんクラブほか	・・・	30,443
▽ 募金支援 自動販売機	箕面ネイチャールーム・大阪観光	・・・	36,915
▽ ゆずるの足湯募金	箕面滝道ふれあい広場(大阪観光)	・・・	28,448
▽ インターネット募金	G I V E O N E	・・・	22,950
▽ 募金箱・その他	常設募金箱ほか	・・・	6,163
▽ 箕面市の「ふるさと寄附金」による「箕面の森の守りびと」会員		・・・	284,000
いただいた募金は、市民や山林所有者による山麓保全の活動に使われます。			計 595,593

## NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net (検索:山なみネット)

\* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

森を守って15年

